

# 臨時会

2月15日

## 佐賀避難タワー工事 3646万円増額

●佐賀地区津波避難タワー建設工事の請負契約の変更契約の締結

変更理由は、近隣住民との調整による家屋調査範囲の追加、階段の音対策、1階階段周りの安全用柵、目隠し用植栽の追加及び鉄骨部材の重量精査に伴い3646万円の増額とするもの。

○請負金額

変更前 5億4918万円  
変更後 5億8564万円

可決（全員）

Q 藤本 岩義議員

家屋調査は工事前にしておかないと工事後との比較が出来ないと思うが、追加分の対応はどうするのか。

また、資材の高騰などで金額の変更があった場合には、

その時点で変更契約をすべきではないのか。

A 松本 情報防災課長

念のために、今回増加の部  
分も事前調査は実施して  
おり、工事終了後に再度調査  
することとしている。

資材の変更は、鉄骨工事  
中の部材接合の小さなもの  
積み上げによる重量の変更  
で、精査による見直しによるもの。

Q 山崎 正男議員

家屋調査の内容と調査に係  
る費用は。

また、地域住民の心配事  
に対する調査はしたのか。  
更に、工事後の地域住民の  
不安などへの対応は。

A 松本 情報防災課長

高いタワーなので地下29  
mまでの基礎杭となっている。  
その杭から45度の角度で上  
がった範囲に工事の振動等  
で影響が出るであろうとして、  
地域の方と協議をしてその範  
囲等を決めた。

調査費用は346万円。

技術的に可能を確認後、平  
成26年9月から地域住民との  
話しを進め、建設の決定後  
には個人的対応を含め27回  
の話し合いを行い、その中  
で住民の心配事や具体的な  
対応などを詰めてきた。  
建設後の問題への対応に  
ついては、地域住民の声に  
常に耳を傾けていく。

Q 中島 一郎議員

家屋調査は、7戸から最終  
的に13戸になったが、事後  
調査は行ったか。

また、工事により修復の必  
要が生じた件は、工事期間  
中に修復するのか。

A 松本 情報防災課長

事後調査は、3月中旬に  
実施予定としている。

この工事には調査費まで  
で、修繕修復費は入っていない  
ので、その調査の結果、補償  
事項に至る場合は、年度を超  
える対応になる。



安全第一で工事の進む佐賀避難タワー（2月中旬）